

矢部清流学園 学校だより



「浮立」公開 一人一役頑張りました!

雲一つない晴天の下、色鮮やかな紅葉が広がる中、第41回ハ女矢部まつりが盛大に開催されました。今年は「浮立を通して矢部村のよさを伝えよう」という目標のもと、浮立保存会の皆様から熱心なご指導を賜りながら練習を重ねてきた成果を存分に発揮し、笛や太鼓、鉦の音に合わせて、力強く、そして堂々とした舞を披露しました。その真剣な眼差しと、響き渡る掛け声は、会場を訪れた多くの観客の皆様に感動と矢部村のよさをお伝えすることができたのではないでしょうか。



令和7年
11月25日
第8号
編集責任
古村 里香



今年度、特に印象的だったのは、保護者や卒業生の方が参加していただいたおかげで、この「浮立」公開が矢部清流学園として持続可能の光が見えたことと、世代を超えて技術と想いが継承されていく姿でした。地域の皆様に見守られ、支えられながら、子どもたちがふるさとの矢部の文化を自分たちの手で守り、未来へつないでいくことの意義を改めて深く感じた一日となりました。この貴重な経験を通して、子どもたちは郷土への愛着と誇りを一層深めたこと思います。「浮立」公開に向けてのご指導、衣装合わせや当日の着付け等、ご協力いただいた保護者の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。

楽しかったね！修学旅行（6年生）

6年生は長崎へ1泊2日の修学旅行に行ってきました。

1日目は、爆心地公園での平和集会や、渋谷先生による平和学習のしおりをもとにしたフィールドワーク、被爆者体験講話等を通して、いのちや平和の尊さについて学びました。2日目は、路面電車に乗って3人で仲良く協力して目的地を目指しながら長崎の歴史と文化について学びました。

羽犬塚駅からの電車の旅やホテルでのトランプ・UNO大会等もとても楽しく、6年生の素敵なお思い出をたくさんつくることができた2日間でした。



里芋・さつま芋大豊作 & 美味しい給食として提供も!

1・2年生が、JA 矢部青年部の皆様のご指導の下、丹精込めて育ててきた学校農園の里芋が、この度、見事な収穫期を迎えました。大きく育った立派な里芋を前に、子どもたちからは歓声が上がりしました。土の中から次々と掘り出される里芋は、どれも立派です。さつま芋もたくさん収穫ができました。



そこで、今年は八女矢部まつりの会場にて収穫した里芋とさつまいもの販売を行いました。「いらっしゃいませ！ お芋、美味しいですよ～。100円ですよ！」と子どもたちは、大きな声で呼びかけながら、自分たちで袋詰めした里芋やさつま芋を販売しました。芋が入った袋の子ども達の手描きのイラストがとても可愛いくて、私も購入したかったのですが、あっという間に完売しました。お客様に「立派な里芋だね」「頑張って育てたんだね」と声をかけていただき、達成感と喜びを感じている様子でした。



また、11月19日は、育てた里芋を使って給食のだご汁として提供してもらいました。

3年生から9年生それぞれから「里芋は柔らかくて美味しいかったです。」「1・2年生の皆さん、ありがとうございました！」等のお礼の言葉に、1・2年生はとてもうれしそうでした。

英語スピーチコンテスト・福岡県中学校総合文化祭出場

8年生 さんが南筑後地区英語スピーチコンテストと、福岡県中学校総合文化祭に出席しました。貴重な休み時間や放課後を使って、英語科の先生や ALT(外国語指導助手)と共に、練習を重ねました。発音の細かなニュアンスから、聴衆に語りかけるアイコンタクト、そして身振り手振りまで、より良いスピーチを目指して真剣な眼差しで取り組む姿は、他の生徒たちにも良い刺激となっていました。



当日は、大勢の聴衆を前にして緊張した面持ちでしたが、練習の成果を信じ、堂々とスピーチを披露しました。流暢な英語で自分の考えをしっかりと伝える姿は、大変立派でした。

12月の学習発表会にて、戻さんの英語スピーチも発表しますので、お楽しみに！

八女地区駅伝大会、全員記録更新でタスキをつなぐ！

体育祭の練習と同時進行で、八女地区駅伝大会に向けた練習が始まり、後期の始業式から朝練も頑張りました。一人ひとりが自身の限界に挑戦し、粘り強くタスキをつないで走り、出場選手全員が「自己ベスト記録」を更新しました。この経験を通じて得た達成感とチームワークの大切さを、今後の学校生活にも活かしてくれることを期待します。



激励会で温かい声援を送ってくれた前期課程の皆さん
当日の保護者の皆様の応援は、選手の力になりました。

